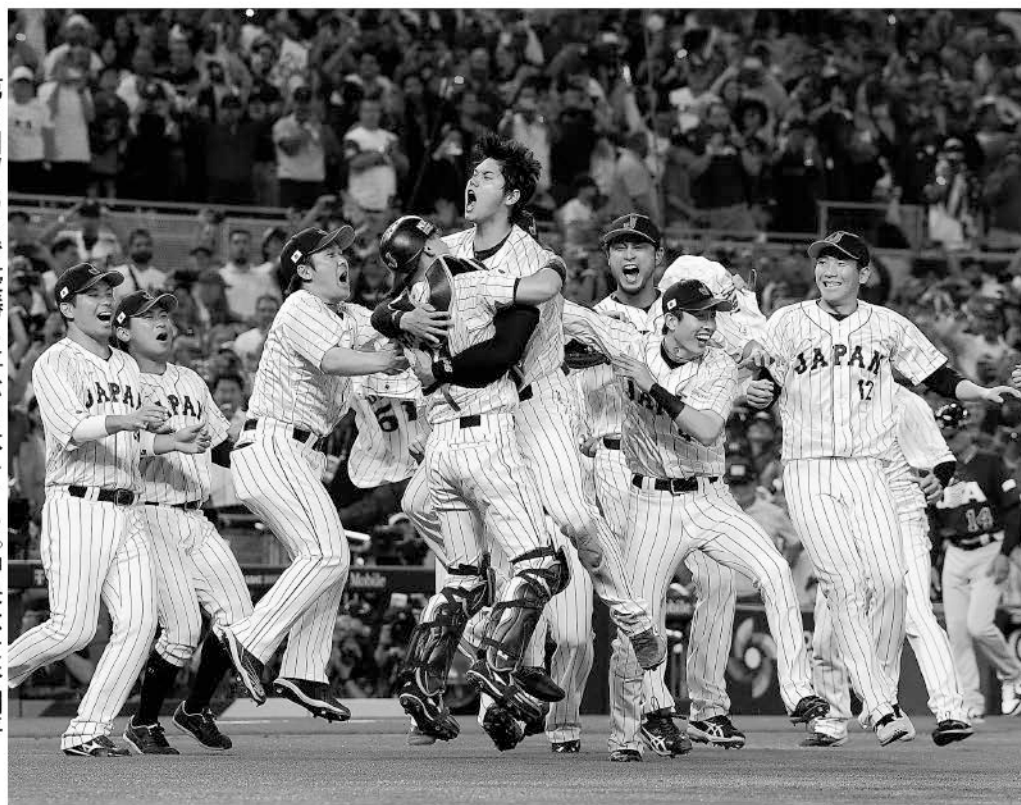


侍ジャパン 世界一

WBC 14年ぶり3度目

3 | 2、米国下す



第5回WBCで優勝し喜ぶ日本ナイン。中央は大谷翔平
21日、マイアミ
(共同)

【マイアミ(米フロリダ州)共同】野球の国・地域別対抗戦、第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)日本代表は21日、米フロリダ州マイアミで行われた決勝で前回王者の米国に3-2で勝ち、2009年の第2回大会以来14年ぶり3度目の優勝を果たした。

栗山英樹監督が率いた「侍ジャパン」は投打の「二刀流」大谷翔平(エンゼルス)やダルビッシュ有(パドレス)、吉田正尚(レッドソックス)ら大リーガーに加え、23歳の村上宗隆(ヤクルト)や21歳の佐々木朗希(ロッテ)ら国内の有望な若手も集った。

20日の準決勝はメキシコに劇的な逆転サヨナラ勝ちを収め、決勝では大谷のチームメートのマイク・トラウトらを擁するスター軍団を倒した。1次リーグから7戦無敗で頂点に立った。